

2017年5月4日 ドイツ ミュンヘン

2017年度 第2四半期決算

2017年1月1日～3月31日

力強い業績で第2四半期を終了 — 利益率の高い成長を継続

「私たちは再び、力強いチームワークにより市場を上回る業績を達成しました。2017年度の下半期には、正式に承認が下りたメンターグラフィックス(Mentor Graphics)の統合、及び、事業開始したシーメンスガメサ・リニューアブル・エナジー(Siemens Gamesa Renewable energy)について、業績の達成度にも引き続き注力してまいります。さらに、今後も取り組むべき事項が多くあります」と、シーメンス AG 社長兼 CEO のジョー・ケーザーは述べています。

- 短期サイクルの事業が力強い結果を出し、売上は前年同期比 6%増の 202 億ユーロ。前年同期に獲得したエジプトでの大型受注 31 億ユーロを含んでも、受注は前年同期比 2%増の 226 億ユーロ。出荷受注比率は 1.12
- 為替の影響及びポートフォリオ効果を除く比較可能なベースで、売上は前年同期比 5%増、受注は 1%増
- ほぼすべての産業関連部門における力強いオペレーションの実施による利益幅の伸びと、年金プランの修正による 1 億 3,800 万ユーロのプラス効果により、産業関連部門の利益率は前年同期比 12.1%増
- 産業関連部門の利益は前期年同期比 18%増の 25 億ユーロ
- 法人税等の高い税率と非継続事業の純利益が振るわなかったにも関わらず、当四半期純利益は 15 億ユーロ規模、基本的 1 株当たり当期純利益(EPS)は 1.79 ユーロ(前年同期は 1.78 ユーロ)
- 2017 年度第 2 四半期末、シーメンスはメンターグラフィックス(Mentor Graphics Corporation)の全株を取得し、2017 年第 3 四半期の初頭、シーメンスの風力発電事業とガメサ(Gamesa Corporación Tecnológica S.A.)との統合を完了した

シーメンス(全体)

(単位: 100万€)	Q2		比較(%)	
	FY 2017	FY 2016	Actual	Comp.
受注	22,629	22,294	2%	1%
売上	20,219	18,996	6%	5%
産業関連事業の利益	2,492	2,115	18%	
内、退職手当	(55)	(87)		
産業関連事業の売上比率	12.1%	10.9%		
退職手当を除く	12.4%	11.4%		
継続事業からの利益	1,458	1,394	5%	
内、退職手当	(72)	(106)		
当四半期純利益	1,483	1,480	0%	
一株当たり当四半期純利益	1.79	1.78	0%	
フリーキャッシュフロー (継続事業・非継続事業)	738	812	(9)%	
ROCE(継続事業・非継続事業)	13.3%	14.9%		

- ほぼすべての産業関連部門において受注増。特に力強い貢献を見せたのは風力&再生可能エネルギー事業とエネルギー管理事業で、ともに大型受注を獲得。前年同期にエジプトで31億ユーロの大型受注があったことを踏まえると、パワー&ガス事業において大幅減となった
- 産業関連事業の受注残は1170億ユーロ
- 全産業関連部門で売上増。特にデジタルファクトリー事業、ビルテクノロジー事業、エネルギー管理事業で2桁成長
- 為替の影響により、受注、売上ともに1%増。ポートフォリオ効果は前年と比較すると最小にとどまる
- 産業関連事業の利益: 1事業を除くすべての産業関連事業で高い利益を達成。特にHealthineersの利益が最も高く、短期サイクル事業が力強い貢献を見せたデジタルファクトリー事業、及びパワー&ガス事業。力強いオペレーションの実施により、ビルテクノロジー事業では最も高い利益の伸びを見せた。また、年金プランの修正により9,400万ユーロのプラス効果が見られた(全産業関連部門への効果1億3,800万ユーロ)。
- 継続事業の純利益: ポートフォリオ活動においては主要な資産除去債務によりプラス効果があったが、持分法適用投資について減損損失を計上(課税所得計算では否認)
- 純利益: 非継続事業の利益減。前年同期は補聴器事業の売却によって利益に6000万ユーロの貢献があった
- 産業関連部門が2017年度上半期に合計32億ユーロのフリーキャッシュフローを生み出す。前年同期の15億ユーロと比較すると大幅成長。今四半期の産業関連部門のフリーキャッシュフローは前年同期の14億7,700ユーロから19億5,100万ユーロに増加。特にパワー&ガスが寄与。この増加は産業関連部門以外の法人税等の高額な支払いなどの資金流出を優に相殺
- 平均投下資本の明らかな増加により、ROCEは減少。主に2017年度第2四半期末のメンターグラフィックスの買収による
- 2017年3月31日時点でのシーメンス企業年金及び類似債務は105億ユーロ

将来の業績に関する見通し

このリリースには、過去の出来事ではなく、将来の業績に関する見通しや情報が含まれています。「期待する」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「信じる」、「模索する」、「推定する」、「予定する」といった言葉やその類義語は、将来の業績に関する見通しに該当する可能性があります。こうした見通しは、当社の現時点での予測と一定の前提に基づいており、したがって、特定のリスクや不確実な要素に左右されることがあります。シーメンスの事業活動、事業戦略、業績に影響を及ぼす要素はさまざま、その多くはシーメンスには制御不可能なものです。そのため、シーメンスグループの実際の業績、活動、成果は、こうした将来の業績に関する見通しの記述や暗示とは大きく異なる可能性があります。特定の不確実な要素には、景気や取引状況の変化、為替動向や金利の変化、他社による競合製品・技術の導入、シーメンスグループの新しい製品・サービスの不振、事業戦略の変化やその他のさまざまな要素の変化などが含まれます。万一、これらのリスクや不確実な要素が現実のものになれば、実際の業績は将来の業績の見通しの予想、確信、予測、期待、意図、計画、予測とは大きく異なる可能性があります。シーメンスは、将来の業績に関する見通しの作成後に発生する出来事に照らして見通しを更新、修正する意図はなく、またそうした義務を負うものではありません。

【参考資料】

本資料はシーメンス AG (ドイツ・ベルリン) が 2017 年 5 月 4 日 (現地時間) に発表したプレスリリースの一部を日本語に抄訳したものです。本資料の正式言語はドイツ語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。原文プレスリリースおよび関連資料は以下の URL よりご覧いただけます (英文)。

[http://www.siemens.com/press/en/events/2017/corporate/2017-q2.php?content\[\]=Corp](http://www.siemens.com/press/en/events/2017/corporate/2017-q2.php?content[]=Corp)

報道関係からのお問い合わせ先:

シーメンス株式会社

コミュニケーション部 中川

Tel: 03-3493-5022

E-mail: rie.nakagawa@siemens.com